

## 感染防止安全計画

※全ての黄色セルに必要な事項を記入してください。

作成年月日

令和4年4月27日

## 1. イベントの情報

本項目では、計画提出の対象となるイベントの情報をご記入ください。  
また、イベントのチラシや計画書等(既存資料)を併せてご提出ください。

イベント名称	常陸国YOSAKOI祭り			
開催目的	茨城県各地に伝わる地域の祭りや伝統文化、芸能を継承・発展させ、青少年の健全育成のため、観客・踊り手・スタッフとして県民参加を目指した、『常陸国YOSAKOI祭り』を開催します。 このイベントは、茨城県北部地域の振興対策として、大子町を拠点とし、広域的な各市町村にも参加を呼びかけ、その街を舞台に毎年拡大しながら県民運動として、人づくり・地域づくり・共生の社会作りに貢献します。 また、県外からの参加により、交流人口の拡大、ネットワークの拡大を図り、広く茨城県のPRに貢献します。			
開催日時	令和4年 5月 21日 10時00分		～	令和4年 5月 22日 18時00分
開催場所	会場名	一日目:大子町袋田地区 二日目:大子町文化福祉会館まいん駐車場	形態	屋外
	住所	一日目:大子町袋田地区 二日目:茨城県久慈郡大子町大子722-1		
	収容定員	屋外のため、定員無し	電話番号	0295-72-0285
参加人数(予定)	全日程の合計 想定参加人数	20,000人		
	1日あたりの最大 想定参加人数	10,000人	最大時の収容率 (自動入力)	#VALUE!
大声での歓声等の有無(※)	なし	大声なしとする理由	大声を自粛するよう事前の告知徹底と、当日の随時各会場でアナウンスを実施	
ワクチン・検査パッケージ活用	あり			
開催概要 出演者等	①実施要項については別紙参照 ②参加チーム一覧は別紙参照			
相談者 情報	相談者の別	イベント主催者		
	団体名	常陸国YOSAKOI祭り本部委員会		
	住所	茨城県久慈郡大子町大子988番地		
	代表者名	笠井英雄	担当者名	齋藤真理子
	現在の電話番号	0295-72-4545	メールアドレス	info@ibayosa.com
	イベント終了後の電話番号	0295-72-4545		

(※)大声の定義を「各が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当するものとする。

次のページにお進みください。

## 2. 具体的な対策

### ①飛沫の抑制(マスク着用や大声を出さないこと)の徹底

#### <チェック項目>

- 飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク(品質の確かな、できれば不織布)の正しい着用や大声(※)を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる

(※)大声の定義は「客が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とする。

#### <具体的な対策>

##### [記載項目(例)]

- マスクを着用しない者や大声を出す者に対する個別注意等の具体的方法の検討・実施
  - ・ マスクを着用しない者や繰り返し大声を発する観客の退場措置の事前準備・周知(チケット購入時の約款に明記等)
  - ・ 応援自粛に係るファンクラブ等との事前調整
  - ・ 警備員や映像・音声によるモニタリング、個別注意や退場の徹底のための実施計画
- 新たな鑑賞・応援方式を根付かせるための取組の工夫(演者からの呼びかけ等)

(記載欄)

(1)チラシ・ホームページSNSなどによる声を出しての声援自粛の呼びかけ

(2)当日会場内でのMC等で声を出す声援の自粛を随時呼びかけ

(3)マスクの着用を会場入り口で呼びかけ(着用なしの場合、入場拒否もしくは主催者で用意したマスクを提供し着用依頼)

### ②手洗、手指・施設消毒の徹底

#### <チェック項目>

- こまめな手洗やアルコール消毒による手指消毒の徹底を促す。(会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液設置や場内アナウンス等の実施)
- 主催者側による施設内(出入口、トイレ、共用部等)の定期的かつこまめな消毒の実施。

#### <具体的な対策>

##### [記載項目(例)]

- 具体的な手洗場、手指消毒液の設置場所、準備個数等の検討・実施・フォローアップ
- 施設内の消毒箇所、消毒頻度の整理
- アナウンス等での手洗・手指消毒の呼びかけ、マスクを着用しない者や大声を出す者に対する個別注意等の具体的方法の検討・実施

(記載欄)

(1)会場入口(両日3か所)に消毒・検温ブースを設置し、実施済みの方は目印としてリストバンド着用。

(2)会場内でのこまめな消毒の実施とリストバンド未着用者に検温のお願いを随時アナウンス

(3)会場内の清掃スタッフを運営スタッフと別に依頼。ごみの分別とトイレの清掃を行う。

次のページにお進みください。

### ③換気の徹底

#### <チェック項目>

- 法令を遵守した空調設備の設置による常時換気又は、こまめな換気（1時間に2回以上・1回に5分以上）の徹底

#### <具体的な対策>

- 個別施設の設備に応じた換気計画の策定
  - ・ 施設に備わっている換気設備の確認、その仕様を踏まえた適切な換気計画の策定
  - ・ CO2 測定装置による常時モニターや映像解析を活用した換気状況を確認する手法の検討・実施
  - ・ 換気能力維持のための定期的な検査・メンテナンス

(記載欄)

- (1)常時窓解放・換気扇等を利用した換気の実施
- (2)スタッフ控室・警備本部等室内にはCO2測定装置の設置(基準値を超えた場合、サーキュレーターを追加)
- (3)

### ④来場者間の密集回避

#### <チェック項目>

- 入退場時の密集を回避するための措置(入場ゲートの増設や時間差入退場等)の実施
- 休憩時間や待合場所での密集も回避するための人員配置や導線確保等の体制構築
- 大声を伴う可能性のある催物では、前後左右の座席との身体的距離の確保

#### <具体的な対策>

- 開場時間の前倒しや時間差・分散退場の実施、交通機関との連携(駅付近の混雑度データを踏まえた増便等)による誘導計画
- 密になりやすい場所での足形マークの設置、マーキング、誘導員等の配置による誘導等の実施計画
- CO2 測定装置等を活用した混雑状況の把握・管理と適切な誘導
- 収容率を踏まえた、密集回避に適した観客席の座席配置の工夫、個別施設の設備に応じた換気計画の策定

(記載欄)

- (1)参加チームの当日朝受付を来場者検温と別テントにて実施(来客との分離目的)
- (2)密集回避のため、観客席の間引き設置(イスを交互に配置)
- (3)来場者・出演者別に誘導スタッフを配置。各所にて混雑にならないよう声掛けを実施。

次のページにお進みください。

## ⑤ 飲食の制限

### <チェック項目>

- 飲食可能エリアにおける感染防止策(飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策)の徹底
- 長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外(例:観客席等)は自粛。ただし、発声がないことを前提に、飲食時以外のマスク着用担保や、マスクを外す時間を短くするため食事時間を短縮する等の対策ができる環境においてはこの限りではない。
- 飲食中は、マスク無しでの会話禁止を徹底
- 自治体の要請に従った飲食・酒類の提供(飲酒提供時は、大声等を防ぐ対策を検討)

### <具体的な対策>

- 開場時間の前倒しや時間差・分散退場の実施、交通機関との連携(駅付近の混雑度データを踏まえた増便等)による誘導計画
- 密になりやすい場所での足形マークの設置、マーキング、誘導員等の配置による誘導等の実施計画
- CO2 測定装置等を活用した混雑状況の把握・管理と適切な誘導
- 収容率を踏まえた、密集回避に適した観客席の座席配置の工夫

(記載欄)

- (1)会場内での飲食提供店舗の削減・消毒やパーテーションの設置など徹底
- (2)飲食可能エリア以外での飲食の自粛を随時アナウンス(観客席での飲食自粛など)
- (3)会場内での酒類の販売禁止。

## ⑥ 出演者等の感染対策

### <チェック項目>

- 有症状者(発熱又は風邪等の症状を呈する者)は出演・練習を控えるなど日常からの出演者(演者・選手等)の健康管理を徹底する。
- 練習時等、催物開催前も含め、声を発出する演者間での感染リスクに対処する。
- 出演者(演者・選手等)と観客が催物前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる。

### <具体的な対策>

- 日常から行う出演者等の健康管理方法の検討
  - ・ 出演者の必要に応じた検査の実施
  - ・ 健康アプリの活用等
- 演者・選手等と観客の接触防止策(動線計画・ファンサービスの自粛等)の策定、演者・選手及び観客双方への呼びかけ、開場時間の前倒しや時間差・分散退場の実施、交通機関との連携(駅付近の混雑度データを踏まえた増便等)による誘導計画

(記載欄)

- (1)出演者・チーム関係者全員の参加名簿の事前提出と、ワクチン3回接種もしくは陰性結果の提示を義務付け。
- (2)当日は演舞中であってもマスクの着用を依頼。
- (3)演舞スペースと観客スペースを広く開け、来客と接触しないよう事前にチームにアナウンス。

次のページにお進みください。

## ⑦参加者の把握・管理等

### <チェック項目>

- 「5つの場面」の注意喚起や直行・直帰の呼びかけ等イベント前後の感染防止の注意喚起
- 入場時の連絡先確認やCOCOAアプリ等を活用した参加者の把握
- 入場時の検温、有症状(発熱又は風邪等の症状)等を理由に入場できなかった際の払い戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止し、有症状者(発熱又は風邪等の症状を呈する者)は出演・練習を控えるなど日常からの出演者(演者・選手等)の健康管理を徹底する。

### <具体的な対策>

- チケット購入時の参加者の連絡先把握
- COCOA等による来場者情報の把握・管理手法の確立(アプリのQRコードを入口に掲示すること等による具体的な促進措置の導入)
- 直行・直帰等の催物前後の感染対策に関する具体的な措置
  - ・ 会場での直行・直帰の呼びかけ、警備員による公共交通機関への誘導等
- 検温・検査実施のための体制・実施計画
- 有症状者の入場を防止できるキャンセルポリシーの整備
- 混雑度データを踏まえた増便等による誘導計画

(記載欄)

- (1)入場時の検温・消毒の徹底(②事項と同じ)
- (2)チラシ・ホームページ等で密の場合の入場制限について事前告知
- (3)検温・消毒ブースにてCOCOA、いばらきアマビエちゃん登録の声掛け実施

回答はここまでです。以下3～4は、該当する場合のみ記載してください。

## 3. ワクチン・検査パッケージに関する実施計画

※ 緊急事態措置やまん延防止等重点措置の発令時に、人数上限を超えて、収容率50%超での開催をしようとする場合に記載

※ 「ワクチン・検査パッケージ制度要綱」を確認の上、下記について、実施の有無をチェックしてください。

- 「ワクチン接種歴」及び「検査結果」のいずれも対象としている。
- 抗原定性検査を実施する場合には、「ワクチン・検査パッケージにおける抗原定性検査の実施要項」に従い、適切に実施している。
- その他の事項についても、「ワクチン・検査パッケージ制度要綱」に従い、適切に実施している。

◎ 実施を予定している検査の内容について具体的に記載してください。

- 1、参加チーム全員のワクチン3回接種もしくは陰性結果の通知(チーム関係者を含む)
- 2、当日従事するスタッフ全員の抗原検査(従事当日もしくは前日に実施)

◎ 「ワクチン接種歴」及び「検査結果」の確認方法について具体的に記載してください。

- 1、参加チームには事前に確認することを書面にて連絡、当日チーム検温専用ブースにてスタッフが目視で確認(ワクチン接種済みのチームは接種証を事前に提出も可能とする)
- 2、スタッフの検査は、お祭りで事前に依頼した薬局にて実施し、検査結果を事務局へ提出

## 4. 専門家との調整状況

※専門家の事前確認を受けた場合に記載

助言を受けた専門家:

根田 滋

主な助言内容:

当日の検査を密にならずに実施するための事前情報の周知について